モ必ズ諸金ヲ以テ
送相見合セ候
二替手仕候節其都
報ノ番封表面御名
日マデノ新報代價
候ト申ス事ニ候
成下候節當方ノ名
テ受取ルベキ様御
下候樣御不便ノ御
手ニテ御拂入レ被
違先キ御取替ヘ被

闘シ今般同國

三條實美
井上馨

臣和衷商辦シ
以テ將來ノ事
印ヲ鈐スル左

ヒ商民ノ貨物

從テ刑ヲ正ス

チ容ルヽニ足ラ

事

シ壬午續約第

井上馨印
金宏集印

ス須ラク三個

テ期ト爲ス

井上馨印
金宏集印

時事新報

兵商不岐

日本ノ外國交際ハ既ニ三十年ノ星霜ヲ迎ヘタリ其間ニ國ヲ開テ專ラ貿易ヲ事トシ且ツハ西洋日新ノ事物ヲ入レテ我彼ノ交通次第ニ隆盛トナリ文明事業ノ進歩亦甚ダ幼稚ナリトハ評シ難シ然シ此ノ三十年來ノ進歩ニテ日本ハ今ノ世界ニ十分獨立ヲ保ツヿヲ得ベキヤ如何ント考フルニ前途倍々多事ニシテ力ヲ致スベキノ處山ノ如クナレバ今後モ更ニ勉勵シテ人モ我モ共々此文明ノ事業ニ勞力スベキハ正ニ我國民ノ義務トシテ見ルモ可ナラン偖然ル上ニテ前途倍々多事ナリト申ス次第ハ道二ツ兵ト商ト、國ヲ建ルニハ商ヲ盛ンニスベキヿ勿論ナルガ兵ヲ備フルモ亦與ニ必要ニシテ此兵商不岐ノ政略ヲ執行スルニ付テハ文ニハ學問ヲ勸メ人智ヲ開キ農工商事ヲ盛ンニシ一個人ニ取リテハ洋文洋語ニ通シテ只管西洋ノ事情ヲ知ルノ必要モアリ又武ニシテ軍艦ヲ作リ大砲ヲ鑄リ兵師ヲ訓練スルノ傍ラニ其費用ノ源ヲモ饒カニスル等官民公私ノ多忙限リナキヿナルベシ然レドモ茲ニ兵ト商ト相對シテ假ニ其兩極ノ働キヲ想像スルトキハソノ物反對ノ性質アルニ似テ兵ト申セバ只管軍備ヲ張リ國ノ体面ヲ護ランガ爲メニハ支那ハ言フニ及バズ西洋諸國マデモ敵ニ引受ケテ鋒ヲ交フルノ覺悟ニシテ甚ダ殺伐ノ風ヲ帶ビ又商ト申セバ唯内外ノ商民同等ニ契約ヲ取結ビ有無ヲ交易シテ我モ人モ其利益ヲ受ケ人々殖産興業ニノミ從事シテ他ニ事アルヲ知ラヌバ平和一途ノ業ナルガ如ク思ハレ兵ヲ盛ンニスルトキハ國民ヨリ其費用ヲ收ムルガ故ニ國民ハ貧トナルノ恐レアレバ商ヲ盛ンニスレバ唯寶ノ入アリテ出ナキガユヘ富有トナル勘定ナリトシテ考フルトキハ兵商ノ兩者ノ併行トハ思ヒモ寄ラヌ無理事ナリト雖ドモ其實果シテ兵商ノ併行ハ六ケシキ者ナリヤ我輩ニ於テハ全ク然カハ思考セザルナリ若シモ國ニ於テ兵商ノ併行ガ出來難キモノナリトセバ人ニ於テモ巨萬ノ財産ヲ有スル者ハ堅固ナル倉庫ヲ建ツル能ハズト言フト一般、天下世界ニ斯ル不條理ノ事ハアル可ラザルナリ蓋シ兵ヲ擴張スルニ付テハ多少費用ヲ要スルヿニエ其額面ヨリ聞ケバ三千萬圓ト云ヒ五千萬圓ト云フノ聲ニ驚キ甚ダ大金ニシテ此金額ヲ國民ノ嚢底ニ置クト置カザルトニテハ大ニ國民ニ休戚ヲ與フベキ筈ナルニ似タレドモ茲ニ十九世紀世界ノ進運ト申シテ富ト云フモノ、高莫大ニ増加シタルハ普人ノ知ル所ナルガ租税トハ即チ此富ノ幾部分ヲ國民ヨリ收ムル者ニシテ此富サヘ多ケレバ税額ハ多少ナルモ何モ差支ユナキナリ喩ヘバ猶ホ泉源ノ溢レ張ル河ノ下流ヲ汲ムガ如シ一石ノ水ヲ汲ムト二石ノ水ヲ汲ムトニテハ其額ニコソ大小ハアレ泉源ノ増シタル以上ハ其水ヲ涸スノ恐レ無キガ故多々益々汲ミ取ルトモ其泉源ニ對シテハ何ノ妨ケモアル可ラズ今ノ世界ノ有樣モコレト同樣、近代政治機關ノ次第ニ手弘ロトナルニ隨テ租税ノ額モ著シク増加シタルニハ相違無シト雖ドモ之ト同時ニ富ノ増殖ヲ見タラバ其進歩ノ度ハ果シテ租税ノ度ニ及ハザルベキヤ如何ソ我輩ハ寧ロ過グルアルトモ及ハザル無キヲ知ルナリ左レバ我日本國ニ於テモ此十餘年間ニ年々少シツ、租税ノ増加アリテ其額面ヨリ考フルトキハ人民ノ負擔重クナリタル割合ナレドモ之ト同時ニ十餘年間、日本國ノ富ノ増加ヲ計算シタラバ縱ヒ一時ノ不景氣等ニテ變則ノ小波瀾ハアル可シ或ハ此小波瀾ヲ等閑ニ附シタラバ大波瀾ニ及テ挽回ス可カラザルニ至ルヿモアラント雖モ是レハ別段臨時ノ問題トシテ社會財政ノ大勢ヨリ十餘年來ヲ平均スルトキハ富ノ進歩ハ租税ノ増加ニ相伴ヒテ無論不平均ハ無カリシナラント思ハル故ニ統計表ヲ作テ此富ノ増加ト租税ノ増加トヲ比較スルヿヲ得ハ我輩ノ所見ニ於テ思ヒ半ニ過グル所モアラン尤モ斯ク言フト雖ドモ我輩ハ漫ニ増税ヲ願フニ非ズシテ其實、錢ガ入ラズニ國ノ立往ク銘策モガナト思ヒ居ル處ナレドモ今ノ世界ニ對峙スル我日本國トシテ見ルトキハ是非共ニ兵無カル可ラス、兵ヲ張ルニハ第一ニ費用ナルガ偖其費用トハ即チ我輩人民ガ各自ノ資力ニ相應シテ國ノ爲メニ受持ツ割前ナリ唯増税ト云フノミニテ其額ヲ聞ケバ甚ダ重キニ似タレドモ年々ニ増加スル此富トノ比例ヨリ見タラバ兵ノ費用ノ如キ多少ノ増加素ヨリ以テ憂フルニ足ラザルヤ明ナリ百ニシテ一ヲ取ルト萬ニシテ百ヲ取ルト數ニ於テハ變リアルモ其實ハ相同シキ者ト云フベシ故ニ兵ハ民力ヲ害スナド云フハ昔シ封建割據戰亂ノ世ノ談ニシテ國民一致外國ニ對峙スル今日ニハ要ナキ憂ヘニシテ兵無ケレバ商振ハズ商振ハザレバ國立タズ牛豚魚肉ノ滋用ヲ食ハズシテ漫然筋骨ヲ逞クセントスルハ痴ナリ苟モ身体ノ健全ヲ欲スレバ其費用ノ如キ聊カ顧ミルニ足ル者ナラズ其證據ニハ

今ノ英國ノ如キ、又前日ノ荷蘭ノ如キ又其以前地中海沿岸ノ諸小共和國ノ如キハ規模ノ大小一ナラザレドモ兵强クシテ商盛ンナリ商盛ナルトキハ其富増加スルガ故ニ兵備ノ費用與ニ共ニ増加スレドモ別段ニ人民ノ生力ヲ殺グヿモ無ク唯兵ノ力ノ强キホドニ商モ之ニ連レテ彌々盛大ニ立至リタルハ古今ノ史ヲ讀ミタル人々ノ知ル所ニシテ今更我輩ノ喋々ヲ用ヒズ然レドモ人ノ感覺ニ訴ヘテ兵ト云フトキハ寇掠遠征ノミヲ事トスル如クニ聞エ又歐洲ノ强國モ古來ヨリ兵ヲ以テ此寇略遠征ヲ事トシ今回ノ佛清事件モ實ハ佛國ガ臺灣島ノ寇略ナリト雖ドモ兵ノ用ハ獨リ此ニ止マラズシテ即チ此寇掠ニ抵抗スル正當防禦ノ利器タルガ故ニ我國ニ於テ兵商ノ併行ヲ要スルト云フ所以ハ唯兵ヲ以テ商ヲ保護シ商ヲ擴張スルニ在ルノミ左ル或ル者ハ言フ兵ヲ强クスルトハ何國ト戰フノ積リナルカ其敵ハ支那ニアリヤ英ニアリヤ佛ニアリヤトテ詰問スル者サヘアレドモ我輩ノ所見ニテハ敵ト云ヘバ世界上皆ナ商敵ナラザルハ無ク友ト云ヘバ世界上亦皆ナ商友ナラザルハ無シ唯其未ダ敵ト友トノ區別判然タラザル間ハ腰邊ノ一刀決シテ脱シ難キ者ト知ル可キノミ今日世界上ニ商ヲ以テ國ヲ建テナガラ獨リ兵ナキハ亞米利加合衆國ノ一アルノミナレドモ其米國モ脱刀ニテ立テ通ス能ハザルノ境遇ニ指迫ル所以ハ我輩ガ曾テ既ニ論述シタル所ニシテ若シ其言ノ實際ニ逢フ無クンバ米國モ亦兵ヲ備フルニ至ラン然ニ米國人民ノ如キハ怯ニシテ兵ヲ備ヘザリシニ非ズ唯勇ニシテ備ヘザリシノミ開國僅ニ百餘年ニシテ獨立、南北ノ兩役ニハ多年ノ苦戰財ヲ棄テ人ヲ殺シテ其國力尚ホ餘リアルノミナラズ駸々富饒ノ境ニ進マントセリ故ニ兵備ノ必要彌ヨ指迫ルヿモアラバソノ商國ニシテ兼テ兵國トナルモ亦旦夕無造作ノ次第ナルノミ我日本國ニ於テモ十分ノ商國タラント欲スレバ務テ十分ノ兵國トナルベシ兵商ノ併行ニ非ザレバ日本國ノ獨立ニ長遠ナキハ讀者諸君ト與ニ我輩ノ深ク信シテ疑ハザル所ナリ

雜報

○山階宮上京　京都に住居せらるゝ二品親王山階宮には昨廿一日神戸より海路を東上さるゝ筈なりと

○出迎準備　本日は大山陸軍卿れ一行が歸朝する日割あるを以て陸軍省よりは昨日より其出迎の準備をなし居れりと

○野村驛遞總官　野村驛遞總官の一行は昨年十一月日耳曼ハ滯在中ハンベルグの驛遞事務を觀察せる爲先同地に赴きたるよし是れは同地れ郵便制度は他所に優れる評判あるが爲めありと云ふ又其節は獨國驛遞總官ドクトル、ステハン氏も同行して波止場市場測候所等總て重立たる場所々々を見分したる由

○米國公使の交代　英國倫敦駐箚米國公使ヲエー、アール、ローウエル氏れ兼て評判よき人なりしが今度共和黨(デモクラット)が政權を握る事とありしに付不日本國へ呼び返されダブリウー、エーチ、ヘルベルト氏が其後任とあるべしとれ事あり右ハルベルト氏は數年間ニウ、ヨーク、ウチールド新聞れ記者とありて諸事に經驗もあり且つ大に才幹ある人ありと云ふ

○送別の宴　一昨二十日川村海軍卿始め將校三十餘名れ今度解雇して歸國すべき兵學校御雇教師某と水交社よ招請しく送別の夜會を開きたり

○川崎會計監督長　同監督長は一昨夜會計課僚一同と築地の壽美屋に招請して新年宴會を催したり

○學術實見　肥田海軍機關總監れ横須賀なる同機關學校生徒の學術實見の爲め昨廿一日出張なしたり

電報

○。。。神戸銀貨、神戸電報

昨二十一日午前十時十五分神戸通信員發電

横濱ヨリ兌換券云々ノ電報アリテ人氣大ニ崩レ只今十二錢三厘買人多シ

○。。。諸品下落、名古屋電報

昨二十一日午前十一時名古屋通信員發電

諸品四五日前ヨリ甚ダ不昧ニシテ買方總テ見合ハセナリ

○大審院刑事局詰　判事伊藤謙吉氏は一昨廿四日司法省ゟ於て大審院刑事局詰を仰付けられたり

○被仰付　文部權少書記官野村綱氏外一名は一昨廿日文部省ゟ於て左の通仰付けられたり

文部權少書記官　野村綱

體操傳習所幹事被免候事

石川縣士族　野村彥四郎

文部省御用掛被仰付取扱准奏任候事
但月俸金八十圓給與候事

文部省准奏任御用掛　野村彥四郎

專門學務局兼體操傳習所勤務被仰付候事

○出張巡回　工部少技長原口要氏は去る十九日山梨縣下甲州街道大月橋檢分として出張仰付けられ農商務省准奏任御用掛山下常名氏と一昨二十日栃木縣へ巡廻仰付けられたり

○武官免補　歩兵少佐河野通好氏と去月廿七日に同杉山直矢氏れ本月十六日に孰も左の通仰付けられたり

仙臺鎭臺參謀歩兵少佐　河野通好
免本職補參謀本部管東局員

參謀本部管西局員歩兵少佐　杉山直矢
兼補參謀本部編纂課長

○淸國領事　神戸家大坂在留淸國領事黎汝謙氏を解任し更よ徐承禮氏を以て其後任となしたる旨日本駐箚全權公使より外務省へ通報せしにより同省に於て其職任を認許しぬりと